

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22017	事業名	都市計画道路整備事業(和賀白川線)				評価分類	B1	
	事業手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()								
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計		
		基本施策	04:道路の保全・整備				款	08:土木費		
		施策の方向	01:幹線道路の整備				項	02:道路橋梁費		
	重点プロジェクト	-				目	03:道路新設改良費			
	事業期間	H 17 年度 ~ R 11 年度		主な根拠法令等	道路法、道路構造令					

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	当路線は、市内環状線として位置付けられており、環状線は本市における産業発展と市民生活の根幹を担う重要な道路ネットワークである。当路線が開通することで、郊外から市街地への交通分散誘導、周辺地域間での直接移動、災害時や代替路線の機能の充実が図れる。	市民及び来訪者	都市機能集約拠点の利便性向上及び市街地の円滑な交通処理を行うことにより、市民及び来訪者の安全性と利便性の向上を図る。	市道と和賀白川線の国道1号から北側区間と市道住山11号線を含めた区間を整備する。 (北側区間) ・幅員9.5m～12m(2車線、片側・両側歩道) ・延長L=800m

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画		○用地測量		○用地交渉(土地鑑定・補償鑑定) ○用地買収 ○用地測量(排水路)		○用地買収 ○測量設計(排水路) ○道路改良工事		○用地買収 ○道路改良工事		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		両側歩道から片側歩道へ道路計画を見直したことから、実施済みである用地測量の結果を基に、測量図の修正を実施した。これにより、来年度以降に計画している用地買収に必要な測量図が作成できた。		用地買収に必要な土地鑑定業務と補償鑑定業務が完了した。また、地権者との用地交渉を開始した。 流末の排水路については、次年度の測量設計に向け、排水路の隣接者と用地境界の立ち合いを実施した。 用地買収については年度完了が見込めなかったため、やむを得ず翌年度に繰り越した。		昨年度に繰越した用地買収については、地権者との合意形成を図り完了することができた。また、排水路の測量設計については、計画通りに完了することができたが、国の交付金について当初予算時で要望額の満額が配分されず補正予算と合わせた配分となり、年度内の完了が見込めなくなったことから、用地買収及び道路改良工事については、やむを得ず翌年度に繰り越した。		昨年度に繰越した用地買収については、地権者との合意形成を図り完了することができた。また、道路改良工事については、繰越及び当初配分額に合わせた区間を完了することができたが、国の交付金の配分状況により補正予算での対応となった工事については、年度内完了が見込めなくなったことから、やむを得ず翌年度に繰り越した。		
	計画 額	事業費	12,100千円	81,176千円	16,900千円	7,158千円	77,000千円	14,310千円	148,500千円	94,483千円	
		国・県支出金	6,050千円	34,504千円	2,950千円	1,479千円	32,500千円	3,563千円	62,500千円	46,741千円	
		地方債	5,400千円	31,000千円	2,700千円	900千円	29,200千円	3,100千円	56,200千円	42,100千円	
		その他		0千円		0千円		0千円		0千円	
		一般財源	650千円	15,672千円	11,250千円	4,779千円	15,300千円	7,647千円	29,800千円	5,642千円	
	決算 額	事業費		79,255千円		7,093千円		13,250千円		94,345千円	
		国・県支出金		34,504千円		1,479千円		3,563千円		46,741千円	
地方債			30,100千円		900千円		3,100千円		42,100千円		
その他			0千円		0千円		0千円		0千円		
一般財源			14,651千円		4,714千円		6,587千円		5,504千円		
①期間内計画額(R4-7)		254,500千円		②期間外計画額(R8-)		390,300千円		①+②総計画額		644,800千円	

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	66,963千円
当年度の最終予算額	126,000千円
次年度への繰越額	98,480千円

④ 指 標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	整備進捗率	実施済み事業費/総事業費	成果	%	計画値	78	79	82	87
					実績値	78	81	83	84
					計画値				
					実績値				
					計画値				
					実績値				

⑤ 進 捗 度 合 (C)	判定	評価理由
	B	関係自治会への事業説明会を実施し、道路に隣接する自治会所有の土地利用についての合意形成を図るとともに、昨年度に繰越した用地買収や当初配分に合わせた工事が完了した。一方、国の交付金の配分状況により補正予算での対応となった工事については、年度内完了が見込めなくなったことから、やむを得ず翌年度への繰越を行ったが、事業が進捗したことで安全性と利便性の向上に資することができた。
		概ね計画どおり進んでいる

事業の対象	事業の目的
市民及び来訪者	都市機能集約拠点の利便性向上及び市街地の円滑な交通処理を行うことにより、市民及び来訪者の安全性と利便性の向上を図る。

(再掲)

⑥ 課 題 (C)	事業の進捗度合を踏まえた課題事項
	和賀白川線の用地買収が概ね完了し、道路改良工事の進捗を図りたいが、要望通りに国交付金の当初予算配分がなされないため、交付金の確保に努める必要がある。

⑦ 事 業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	三重県等の関係機関と連携し交付金の確保に努める。また、用地買収が完了した区間の工事進捗を図る。	和賀白川線の進捗状況に合わせ住山11号線の整備も視野に入れ市内環状道路としての整備を進める。

(履歴)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
進捗度合		A	B	B
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

1次評価者	建設部 土木課 道路整備GL 伊藤 貴広
最終評価者	建設部 土木課長 水越 洋光